

伊仙町 GIGA スクール推進・教育環境整備計画（電子黒板版）

1. 計画の背景と目的

本町では、国の GIGA スクール構想に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するため、全小中学校（小学校 8 校、中学校 3 校）に電子黒板を導入してきました。

これまでは、技術革新の速さや初期費用の抑制を考慮し 5 年リース方式を採用してきましたが、今般、国の「デジタル活用推進事業債」を活用することで、財政負担の平準化と長期的なコスト削減が可能となりました。本計画は、安定的な教育 ICT 環境の維持と、町財政の健全化を両立させるために策定します。

2. 現在の導入状況

現在、計 76 台の電子黒板を以下のサイクルで運用しています。

リース開始年度	台数	更新時期（予定）
令和 5 年度	22 台	令和 10 年度
令和 6 年度	27 台	令和 11 年度
令和 7 年度	27 台	令和 12 年度
合計	76 台	—

3. 整備手法の転換方針

今後、リースの満了を迎える機材から順次「デジタル活用推進事業債」を活用した「購入方式」へと切り替えます。

4. 実施スケジュール（更新計画）

令和 8 年度以降、現在のリース期間終了に合わせて順次購入への切り替えを実施します。

ただし、令和 8 年度は特別支援学級が増となり 3 台必要となることから、下表に追加しています。

また、故障も想定しうることから購入による保守等で補えない代替機の購入に対応するため、毎年度 2 台程度を追加し予算化を行います。

更新年度	更新台数	整備内容
令和 8 年度	3 台	特別支援学級増による整備
令和 10 年度	22 台	令和 5 年度分を購入へ切替
令和 11 年度	27 台	令和 6 年度分を購入へ切替
令和 12 年度	27 台	令和 7 年度分を購入へ切替
（必要に応じ）	2 台	毎年度予算化を行う

5. デジタル活用の推進目標

電子黒板の購入・整備により、以下の教育目標を目指します。

1. 視覚的支援の充実: デジタル教科書や動画教材の活用により、子供たちの理解度を深めます。
2. 双方向授業の推進: 児童生徒のタブレット端末と電子黒板を連携させ、意見の共有や発表の機会を増やします。
3. 教職員の負担軽減: 提示資料のデジタル化・共有化により、授業準備の効率化を図ります。